

令和5年度第2回文化財保護審議会 会議録

場 所：南砺市役所 302会議室

日 時：令和6年2月29日14:00～16:00

出席委員

委 員：9名、文化財保護部局代表：1名、事務局：7名

欠 席 委 員：なし

開会

会長あいさつ

【報告事項】

1. 能登半島地震の文化財被害状況と対応について **資料1** (説明：事務局)

委 員：越中五箇山相倉集落の民俗館1号館を現地確認した。震災の影響で柱や土台の傾きがひどくなっている。これは、付近に沼跡があることから地盤が軟弱であったためと考えられる。

建築からこれまで、根本的な修理を行ったことはない。しかし次世代に継承していくためには、100年～150年の間隔で根本的な修理を行う必要がある。

総合的に考えると、屋根だけではなく基礎からの解体修理が望ましい。

文化庁の担当者も同じ意見だと伺っている。

委 員：基礎から解体修理を行うことはあまり事例がないことである。そのため、動画で記録を残すことを検討してはどうか。

事務局：検討する。

安居寺古仁王立像の修理について請け負える業者に心当たりがあれば教えてほしい。

委 員：安居寺古仁王立像は重量があるため、井波の仏師複数人で修理にあたるのはどうか。

事務局：情報提供感謝する。

委 員：県や市の指定の文化財については、南砺市内で修理できることが望ましいのではないか。

事務局：検討する。

2. 指定文化財現状変更等について **資料2** (説明：事務局)

意見は特になし

3. 南砺市文化財保存活用地域計画について **資料3** (説明：事務局)

意見は特になし

【協議事項】

1. 指定文化財の解除等について **資料4・5**（説明：事務局）

→了承

2. 迎月亭について **資料6**（説明：事務局）

→国登録文化財に向けて進めていくことで了承

委員：建築より50年以上経っていることもあり、国登録文化財になる可能性は十分にある。登録された際には、国登録文化財のイメージなどを活用してほしい。

委員：継承について検討を行いながら、国登録文化財を目指してほしい。

（会議終了）